

			長崎県水産部水産経営課	
目的	・組合員への安定的かつ安価な氷の供給体制の整備による漁家収益性の向上			
目標	【取組目標 (KPI)】 五島漁協における中核的漁業経営者1名あたりの漁業所得 (令和4年度) ●●●●千円 【成果目標】 施設の年間製氷利用量の増 (令和4年度) 968 t	1		
事業実施主体	五島漁業協同組合			
実施地区	五島市富江地区			
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度		
	平成30年度	令和4年度		
助成金額	143,715千円			
事業計画の内容	・製氷施設整備 (製氷10 t / 日、貯氷15 t / 日) ・既存施設解体			
評価	取組の目標 (KPI)	五島漁協における中核的漁業経営者1名あたりの漁業所得		
	基準年(A) 現状値(B) 目標値(C)	基準年(A)	(平成30年度時点) ●●●●千円	
		現状値(B)	(令和4年度末時点) ●●●●千円	増加率 【=(B-A)/A×100】 33%
		目標値(C)	(令和4年度末) ●●●●千円	増加率 【=(C-A)/A×100】 10%
	成果目標	施設の年間製氷利用量の増		
	現状値	現状値	(令和4年度末時点) 1,005 t	
		目標値	(令和4年度末) 968 t	
	(1) 現状値の説明	【取組の目標 (KPI)】 五島漁業協同組合富江地区に所属している中核的漁業経営者(珊瑚漁除く)の売上から経費を控除し、経営体数で除した数値 令和4年度末時点 ：総所得額●●●●●千円(珊瑚漁除く) ：平均所得額●●●●●千円(90経営体) 民間からの氷の購入が不要となり、利便性の向上による労働時間短縮等により経費の削減につながり、また水揚も良かったため目標達成となった。 【成果目標】 五島市富江地区に新たに整備した施設の年間製氷利用量 令和4年度末時点：1,005 t 令和4年度は令和2・3年度と比較して水揚量が多かったこと、また施設整備後24時間体制で氷が供給可能となり、利便性が向上したこと等で目標達成となった。		
	(2) 地域への経済効果(ハード事業のみ)	鮮度保持・出荷に欠かせない氷を安定的かつ安価に供給できた。さらに、製氷施設の集約化に伴い、維持管理経費等を大幅に削減することができた。		
	(3) 所見	引き続き当該施設利用の向上に努め、組合員の収益性の改善を図る。		
(4) 評価機関への意見等				
今後の改善方向等に関する分析				